

施策番号	1104		
施策名	産業の振興と大学教育の充実に向けた産学公地域連携の推進		
概要	産業界と連携し、大学の知の集積を生かした産業の振興と学生の雇用創出を図るとともに、京都のまち全体を研究の実践、体験の場とすることで、大学教育の充実を目指す。		
担当局・部室	総合企画局・総合政策室	共管局・部室	
上位政策	11 大学		
施策に関係する 主な分野別計画等	大学のまち京都・学生のまち京都推進計画2014-2018		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		26年度	27年度	28年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウェイト
1	市内の大学・短期大学における地域と連携した取組の実施率(%)	b	b	78.9	84.2	82.5	102.1%	a	1.00
2	-	-	-	-	-	-	-	-	
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		b	b	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		26年度	27年度	28年度回答					
				そう思う	どちらかと言う うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう思 わない	そう思 わない	有効回答 者数
1	大学の人材や研究成果は、産業の活性化と雇用の創出に役立ち、地域の発展にもつながっている。	b	b	81 17.3%	168 36.0%	167 35.8%	37 7.9%	14 3.0%	467
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている						
	重み付け	☐ 客観指標	a	☒ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 本施策は、大学が学外に出て、産業界や地域などと連携して活動を行うことにより、市民生活向上に寄与するとともに大学教育の充実を図ることを目的としているため、市民生活実感評価を重視する。						27年度	B
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						26年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		28年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		27年度 決算額	28年度 予算額		
1	大学地域連携創造・支援事業	8,660	9,766	悪い	総合企画局
2	「学まち連携大学」促進事業	0	30,117	—	総合企画局
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

* 予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・これまで連携事例の少ない行政区や大学に積極的に働きかけ、大学と地域が連携して、地域の課題解決やまちの活性化につながる取組の推進を支援することで、京都のまち全体を教育・研究の実践、体験の場とし、大学教育の充実と地域の発展を目指す。

施策名	1104	産業の振興と大学教育の充実に向けた産学公地域連携の推進				
指標名	市内の大学・短期大学における地域と連携した取組の実施率（％）					
担当課	総合政策室		連絡先	2 2 2－3 1 0 3		
1 指標の説明						
市内の大学・短期大学のうち地域と連携した取組を実施している大学等が占める割合						
2 指標の意味						
大学教育の充実につながる大学と地域との連携の強化に向けた取組状況を示す指標			3 算出方法・出典等			
			出典：総合政策室調べ（地域と連携した取組のある市内大学・短期大学数÷市内大学・短期大学数×100）			
4 数値						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	26年度	27年度		数値	根拠	達成度
数値	78.9	84.2	5.3%増	82.5	平成32年度の目標値達成のため、当該年度達成すべき数値	102.1%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		100%	32年度	84.2%	市内の大学・短期大学の全てで地域と連携した取組を実施	
5 評価基準						
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：95%以上～100%未満 c：90%以上～95%未満 d：85%以上～90%未満 e：85%未満			6 基準説明			
			・目標値を達成すればa評価 ・以下5%刻みでb～e評価			
7 評価結果						
26		27		28		
b		b		a		